

文部科学大臣表彰

◇ キャリア教育優良学校表彰

キャリア教育の充実を促進することを目的として、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA 団体等を対象に、文部科学大臣が表彰するものです。

| 年度 | 学校名 | 功績等 |
|-------|--------|--|
| 令和元年度 | 荘野小学校 | <p>「夢とおもてなしの心」をキーワードに、「よりよい人間関係を築きながら、自らのよさに気付き、夢や希望をもって生きようとする意欲・態度の育成」を目指し、キャリア教育を推進している。</p> <p>全体計画では、「身に付けさせたい資質・能力・態度」を「基礎的・汎用的能力」との関連で整理し、発達段階に応じて具現化した重点目標を設定するとともに、年間指導計画では、学年間の系統性を意識して活動を設定している。</p> <p>また、地域交流センター、社会福祉協議会、協働のまちづくりネットワーク等の協力により、学校と地域が連携・協働して地域の学習材や人材を生かした教育活動を展開しており、社会に開かれた教育課程のモデルとなる優れた実践を行っている。</p> |
| 令和3年度 | 賀茂川中学校 | <p>生徒に育成したい資質・能力として、①活用できる知識・技能 ②表現力・説明力 ③多面的・多角的に考える力 ④チャレンジ精神 ⑤共存していこうとする態度 を設定し、自治的活動に焦点を当てた特別活動や総合的な学習の時間を中核に、生徒の主体的な学びを生み出すキャリア教育を推進している。</p> <p>令和2年度は第2学年において企業と共同した「広島空港プロポーザル大会」を主軸に据え、キャリア教育を展開した。</p> <p>令和3年度全国学力学習状況調査の生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っていますか。」の設問の肯定的回答が90.0%（全国68.6%）、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」の肯定的回答が90.0%（全国65.9%）であり、キャリア教育で求められる基礎的・汎用的能力の育成に結びついていることが顕著である。</p> |

◇ 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）表彰

国民の間に広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進することを目的として、特色ある優れた実践を行っている学校・園、図書館、団体・個人を対象に、文部科学大臣が表彰するものです。

| 年度 | 団体名・学校名 | 功績等 |
|-------|---------------------|---|
| 令和3年度 | おひさま文庫 | <p>絵本を通してお話の楽しさ面白さを伝え、情緒を育み、活字離れが心配される子供達の生涯の読書活動に繋がる取組を行っている。</p> <p>また、核家族化が進む今日において、子供達が地域の方々と交流ができる体験の場所を提供し、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」にも繋がる活動をされている。</p> |
| 令和4年度 | 中通絵本の会 「たんぼぼのへや」 | <p>自分たちの手で作った人形を使い、音響から舞台装置にいたる細部までこだわった人形劇を演じることで、子供たちや地域の人々に絵本を通してお話の楽しさや面白さを伝える活動を、37年にわたり行っている。</p> <p>本市や他市町の読み語り団体との交流や研修会も積極的に行い、市内の読み語りボランティアグループの中心的役割を担っている。</p> |
| 令和6年度 | 忠海学園 | <p>児童生徒がこれからの変化の激しい社会で主体的に生きていくために、国際団体「ACT21s」が提唱する「21世紀型スキル」の育成を研究主題とし、その育成を学校図書館の三機能を有効に活用しながらこれまで研究を進めてきた。</p> <p>学校図書館を授業で有効的に活用することはもちろん、普段の読書活動を児童生徒主体で充実させたり、学校運営協議会を活用したりして、学校図書館の三機能を校外に拡充してきた。</p> <p>これらの実践により、本や学校図書館に親しむ児童生徒の育成はもとより、児童生徒の不読率の大幅な減少、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善が図られてきた。</p> |

◇ 文部科学大臣優秀教職員表彰

教職員の意欲を高め、資質能力の向上を目的として、全国の国公私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等）の優れた成果を上げた教職員を対象に、文部科学大臣が表彰するものです。

| 年度 | 氏名 (受賞時所属及び職名) | 功績等 |
|-------|--------------------|--|
| 令和3年度 | 有松 浩司 (吉名学園教諭) | 平成21年度に竹原市立小学校へ異動以来、国語科や道徳教育等においてICT活用教育の先進的な研究を重ねてきた。 この間、数々の研究論文を発表するとともに、県内はもとより全国の研究大会や研修会で講師としても自らの実践を発表し続けてきた。 吉名学園が、令和2年度広島県中学校教育研究会（視聴覚部会）の指定を受け、研究主任としてICT活用教育を学園の中心となって先進的な研究の推進に貢献した。 |
| 令和7年度 | 中野 愛 (竹原西小学校教諭) | 平成30年度から広島県教育委員会「小学校外国語パワーアップ事業」のリーダーとして外国語の指導方法等について研究と実践を重ね、令和3年度からは市内4小学校での英語専科指導に取り組み、児童の英語力やコミュニケーション力を向上させた。また、英語による言語活動を通じた実践により授業のモデルプランを作成するとともに、指導と評価の一体化の観点から小学校外国語シラバス及び「CAN-DO」を作成・普及し、地域の教員の指導力向上にも貢献した。 |

◇ 文部科学大臣教育者表彰

学校教育の振興に特に顕著な功績のあった方を称えることを目的として、国公私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等）の校園長や教員を対象に、文部科学大臣が表彰するものです。

| 年度 | 氏名 (受賞時所属及び職名) | 功績等 |
|-------|---------------------|---|
| 令和5年度 | 九十九 邦守 (竹原中学校校長) | 積極的な生徒指導を推進し、生徒指導上の諸課題の解消を図りつつ、組織的な教育研究を進め、確かな学力の定着を図るため、基礎・基本の徹底、思考力、判断力、表現力の育成、主体的な学びを推進し、学力向上に向けた成果を残した。 キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業の指定校の校長としてリーダーシップを発揮し、地域や産業界との連携による、小中一貫したキャリア教育推進計画を開発・実践した。 |